

平成29年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

シートNo.1

◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。  
◆館の重点評価項目は、白根・月潟図書館が重点的に取り組んだ事業。

中心図書館名：白根図書館

区分	施策・事業名	概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価	
課題解決型図書館	◇全館共通評価項目 課題解決のためのレファレンスサービスの充実	・市民に身近な課題解決のためレファレンス(調査・相談)サービスを充実させ、迅速かつ的確な情報提供を行う。	H27実績：3, 453件 (所蔵調査：3, 207件 事項調査：246件) H28実績：3, 019件 (所蔵調査：2, 388件 事項調査：631件) H29実績：3, 311件 (所蔵調査：2, 948件 事項調査：363件)	レファレンス(調査・相談)については少しずつ利用者に浸透してきています。事項調査は減少しましたが所蔵調査が増加したため、昨年度より件数は増加しました。今後もさらなるサービス充実に努めていきます。	3 大変評価する。43% 2 ある程度評価する。57% 1 評価できない。	・これまでの取組が成果として表れている。今後もレファレンスサービスの周知をお願いしたい。 ・南区役所でレファレンスサービスのチラシを見たことがある。レファレンスサービスは図書館ならではのサービスなので、引き続き宣伝活動を行ってほしい。 ・レファレンスについては数だけでなく質の良いサービスを提供できるのが図書館の強みと感じている。 ・これからも継続してほしい。 ・他の図書館と連携して本が手に入ったときはとてもうれしかった。
	◆館の重点評価項目 展示架等積極的展開	・公民館事業に関連した資料の展示を行い、広く市民に図書館利用をPRする。 ・利用者ニーズや時節にあった資料展示で情報提供を行う。	テーマ展示： (白根) H29実績：46回(H28実績：45回) ※うち1回は白根地区公民館事業、2回は新潟市他課事業に関連した展示。 (月潟) H29実績：44回(H28実績：37回)	白根では農業やビジネスなどの常設コーナー展示や定期的に入替を行うテーマ展示などを工夫して行うことで利用拡大につなげています。また公民館や新潟市の他の部署との連携を図り、積極的に実施事業に関連した展示も行いました。 月潟では定期展示のほか、ミニ展示も定着してきました。身近な情報提供、話題性を心がけており、貸出につなげています。	3 大変評価する。72% 2 ある程度評価する。28% 1 評価できない。	・利用者のニーズに応じた展示をお願いしたい。 ・常設展示やテーマ展示は、定期的に図書資料への興味を喚起できる手法かと思う。前年度と同等あるいはそれを上回る実施は意義あることと思う。 ・月潟のテーマ別のミニ展示は個人的に楽しみにしていて訪れたいと思える。 ・しばしば図書館を訪れていて、良くやっていると思っていた。 ・時節に合った話題の展示で市民が図書館に行ってもらえるよう努力してほしい。 ・今、農業こそ明るい産業。「明るい農業」を目指す展示に力を入れてもらいたい。
寄与色ある分地域づくり図書館	◇全館共通評価項目 地域資料の体系的な収集と活用	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を行う。	南区の図書館として、夙・農業関連資料をはじめ、行政資料についても広く情報収集し、所蔵するように努めている。 H27実績：7, 373冊 H28実績：7, 605冊 H29実績：7, 798冊	白根では南区の中心図書館として、地域住民の課題解決を支援するため、地域資料の積極的な収集、保存に努めました。 月潟では活用価値・保存価値の高いものを優先して収集に努めました。	3 大変評価する。57% 2 ある程度評価する。43% 1 評価できない。	・今後も地域資料の収集に努めてほしい。 ・郷土資料の収集・保存は、それ自体地域図書館の大切な役割である。郷土資料貸出冊数が増加傾向を示しているが、今後もこの施策が継続されるよう望む。 ・年々増加しているのが素晴らしい。協議会で、市史のデジタル化の意見もあつたが、マンパワーに限界があるものこそボランティアを募集してみてはどうか。 ・これからも継続してほしい。 ・新飯田の円通庵など、古い蔵の資料の掘り出し等に取組むプロジェクトがあれば参加したい。
	◆館の重点評価項目 農業等産業関連図書の充実	南区の主産業である農業図書の収集を進めるとともに、他の地場産業関連図書にも拡大する。	H29には農業コーナーの充実のため新たに42冊を受け入れし、また新聞1紙「農業共済新聞」の受け入れも開始した。	農業関係者の支援のため、積極的に農業関連図書の収集を行いました。また、図書以外にも、農業関連の雑誌や新聞の収集にも努めました。	3 大変評価する。57% 2 ある程度評価する。43% 1 評価できない。	・南区の特色に対応した取組に感謝する。 ・自分自身は興味はないが、南区の基幹産業なので必要なことだと思う。 ・雑誌はタイムリーな話題が掲載されるのでよいと思う。 ・さらに充実させて利用者拡大のためにPRすると良い。 ・各地に地場産業センターができては。農家に積極的にプロデュースが必要。図書館としての支援も必要になるのでは。
子ども・社会・読書活動型図書館	◇全館共通評価項目 子どもの読書環境の整備	・ブックスタート事業を継続するとともに、赤ちゃんタイムを全館に拡大し、うちどく(家読)を推進する。	ブックスタートを月1回の1歳誕生歯科健診時に実施。 H27参加実績：348名 H28参加実績：323名 H29参加実績：335名	関係課やボランティアと協力し、スムーズに運営できました。開始から7年たち、ブックスタート事業の周知も進んでいます。引き続き、ブックスタート参加者に、絵本を通じての親子のコミュニケーションづくりや家庭での読み聞かせ、図書館活用について働きかけを行っていきます。 またうちどくに関連して、読書ノートやおすすすめする児童書のリストを配布しました。	3 大変評価する。57% 2 ある程度評価する。43% 1 評価できない。	・とても素晴らしい取組。今後も継続してほしい。(2人) ・重要な施策が順調に展開されていることは嬉しい限りである。95%台にまで向上した参加率を更に向上させ、どの子にも届くようにしてほしい。 ・うちどく、子供だけでなく成績ランキングの発表などをしてみては。読書へのモチベーションがあるのではないかと。学校と連携してほしい。
	◆館の重点評価項目 児童福祉・学校図書館職員への支援による、子どもの読書環境整備を目指す	・学校図書館支援センターによる学校図書館支援 ・教育関係職員への情報提供と講師派遣	担当区内小中学校35校を訪問。訪問回数合計78回。(全校訪問各2回、ほか新任転任司書勤務校及び訪問要請校、読書活動実施校等)また訪問時や電話等の相談により、各種情報提供を行った。 このほか電話や来館時の対応を通して、速やかに適切な資料や情報の提供に留意し、円滑な図書館活用を支援しました。 併せてゆりかご学級や育児相談などへの講師派遣や資料提供を通して、各教育関係機関の事業に協力しました。	訪問対象校の小・中学校35校について合計78回訪問しました。管理職や担当職員から聴き取りをし、学校図書館の現状把握に努め、また、運営や蔵書・施設の諸課題に対し改善のための助言や参考資料の提供を行いました。 このほか電話や来館時の対応を通して、速やかに適切な資料や情報の提供に留意し、円滑な図書館活用を支援しました。 併せてゆりかご学級や育児相談などへの講師派遣や資料提供を通して、各教育関係機関の事業に協力しました。	3 大変評価する。72% 2 ある程度評価する。28% 1 評価できない。	・定期的な訪問はとてもありがたい。安心して相談ができる。 ・学校図書館の充実が図書館への来館を減らさずという側面があるかもしれないが、イベントの共有(ソーシャル集めなど)で、お互いwin-winの関係を作れたらよいと思う。 ・教育機関の連携は非常に大切だと思う。今後も細やかな支援を続けてほしい。 ・学校それぞれで図書館の環境が違う。適切なアドバイスをいただけて素晴らしい学校図書館になっているようだ。
市民参加型図書館	ボランティアや教育機関・民間団体等との協働	・ボランティア・教育機関や民間団体等と一緒に事業を行い、市民との協働を推進する。	・白根図書館の応援団である「しろね図書館友の会」との協働による事業実施。 読書会(毎月第3日曜日)参加人数：82人 ・絵本作家スギヤマカノさんワークショップ(11月)参加人数：21人 ・雑誌リサイクル会(11月)参加人数：156人 ・新潟県行政書士会との共催による事業実施 行政書士無料相談会 参加人数：1人 ・ボランティアグループ(月潟)との協働事業 高橋郁丸氏講演会 参加人数：31人 ・読み聞かせボランティアグループとの「おはなし会」の実施：参加人数：881人	白根ではしろね図書館友の会と協力し、図書館事業の充実を図りました。読書会は6月に200回を迎えたため、記念読書会を行ったため参加者が増えています。また、県行政書士会との共催で無料相談会を行い、その際に関連本を展示するなどして利用につなげるよう工夫しましたが、参加人数は1人にとどまりました。 また、白根・月潟ともに友の会や読み聞かせボランティアグループと協力し、講演会や年間を通してのおはなし会を実施しました。	3 大変評価する。72% 2 ある程度評価する。28% 1 評価できない。	・関係諸団体と連携し更に充実した活動をしてほしい。 ・200回記念読書会は、創設当初からの歩みを振り返り、今後の取組みを考えるよい機会となった。実施は大変だったと思うが、意義のある事業だった。 ・読み聞かせボランティアをしているが、おはなし会は、ボランティアが少ない人数でがんばっているのが、広報宣伝活動に力を入れてほしい。 ・白根図書館のボランティアの活動は以前から見聞きており評価している。 ・これからも継続してほしい。
	◆館の重点評価項目 ボランティア講座の充実	南区で活動するボランティアを対象とした講座を実施する。	読み聞かせ講座(初心者向け) 参加人数：8人 ブックスタートボランティアステップアップ講座 参加人数：18人	初心者向けの絵本の読み聞かせ講座を実施し、南区内で読み聞かせボランティアや絵本にかかわる活動を行う人材の養成に努めました。 また、ブックスタートボランティアのスキルアップを図るために、ステップアップ講座(「赤ちゃんの発達」「1歳児への関わり方」)を実施しました。	3 大変評価する。43% 2 ある程度評価する。57% 1 評価できない。	・この講座を広く宣伝し、充実した取組になるようにしてほしい。 ・ボランティア人材育成のために初心者向けの講座やステップアップ講座は欠かせないと思う。今後も重点評価項目として推進されるよう望む。 ・かねてから希望していたので読み聞かせ講座の実施は大変ありがたい。参加8人の今後の活動を期待したい。 ・ボランティアの人員の確保はどれも苦勞している。関心を持ってもらえるような講座を引き続き実施していただきたい。 ・さらなる充実を望む。 ・参加人数を増やすにはどうしたら良いのだろうか。